

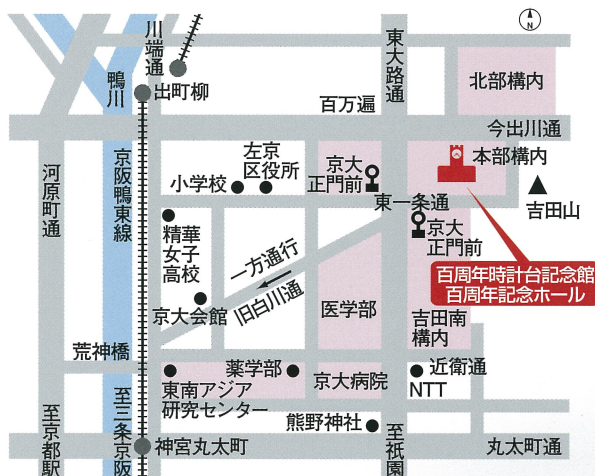
京大病院の医師が、被災地での医療活動を語る。



■プログラム

(司会：副病院長 坂田隆造)

1. 京都大学における医療支援体制 (病院長 三嶋理晃)
 2. 一般演題 (13:40～15:45) 各15分
 - ① 災害派遣医療チーム(DMAT)による支援 (救急部 助教 大鶴 繁)
 - ② 検死医としての活動 (病理診断部 准教授 三上 芳喜)
 - ③ 東松島におけるボランティア活動から (医学部人間健康科学科4回生 石井和樹)
 - ④ 福島県における「京都府心のケアチーム」の活動 (デイ・ケア診療部 院内講師 山崎信幸)
 - 【質疑応答】(14:40～14:50)
 - 【休憩】(14:50～15:00)
 - ⑤ 宮城県石巻赤十字病院への産婦人科医師派遣に参加して (産科婦人科 助教 濱西潤三)
 - ⑥ 近畿ブロック4大学による医療支援 (心臓血管外科 助教 村中弘之)
 - ⑦ 被災地における感染症防止 (感染制御部 准教授 高倉俊二)
3. 特別講演 (15:45～16:20) 35分
福島第一原子力発電所の事故を踏まえた
今後の緊急被ばく医療 (救急部 教授 小池 薫)
 4. 質疑応答 (16:20～16:30)
 5. 今後の被災地への医療支援について (副病院長 坂田隆造)



■日時：9月29日(木)
13:30～16:40

■場所：百周年時計台記念館
百周年記念ホール

入場無料

申し込み不要

先着500名様

大震災後の医療・診療・感染症防止を考える

医学研究科及び医学部附属病院への理解を深めていただくため、本学教職員、学生のほか、一般市民の方を対象に、これまでに行ってきた医療支援等の活動内容を報告させていただきます。

特別講演としましては、福島第一原子力発電所の事故を踏まえて今後の緊急被ばく医療のあり方について、紹介いたします。

皆さまどうぞ奮ってご参加下さい。



京都大学医学部附属病院

■問い合わせ先：京都大学医学部附属病院 総務課総務掛
電話 075-751-3005

京大病院HP <http://www.kuhp.kyoto-u.ac.jp>